

# ま っ か わ

□□□ 第2号 □□□

## 5月の懇談会・参観ありがとうございました

### <懇談会での校長講話より>

本日は、お忙しい中お越しいただき、まことにありがとうございます。

新型コロナ対応として、PTAの皆様にもご理解いただき、参観についてはGW終了後に3日間設定させていただきました。本来なら校長講話やPTA総会は体育館で対面で行うところですが、感染対策として校長室と各教室を結びオンラインで行うように計画をしました。生徒も昨年度から、生徒総会や始業式、終業式など、このようにZOOMを使ってオンラインで行ってききましたので、それがどのようなものか、今回保護者の皆様にも体験していただく機会となったかなと思っています。

さて、早いもので令和3年度が出発して、1か月が経とうとしております。昨年度は分散登校を余儀なくされる中での出発でしたが、本年度は感染対策をしながら日常生活を送ることができています。お子様の様子はいかがでしょう。新たな目標を掲げながらスタートがきれたのではないかと感じています。

それでは、これから今年度の松川中学校が大切にしていきたいことや変更点を中心にお話をさせていただきます。資料を用意しましたので、ここで画面を切り替えます。

今年のグランドデザインについて、まずお話をさせていただきます。学校目標は「自ら考え、正しく判断し、行動できる生徒」です。この実現のため3つの具体的な取り組みを行っていきます。

①主体的・対話的で深い学びによって「自らの考えを表現できる生徒」の育成に努めます。松中スタンダードを活かしながら新学習指導要領実施に沿って、思考力 判断力 表現力の力をさらに伸ばしていきます。また、5月10日(月)にタブレット貸与式を行い、学習での活用をスタートさせます。まずは慣れる、正しく使うから始めていきたいと考えています。

②教師の3M(生徒の良さを見つけ認め見とどける)を大切にしながら、「お互いの多様性を認め合える」集団づくりをしていきたいと思っています。町スクールカウンセラーの上田さんによる相談体制の整備を町と協力しながら、1年生から面談を実施していきます。また、町不登校支援コーディネーターの下澤さんと連携しながら、生徒の居場所づくりを進めていきます。

③地域の力を活かし、地域と関わることで「ふるさと松川を愛する生徒」の育成では、地域コーディネーターの名子さんに学校と町をつなげていただきながら、1年福祉体験、2年しごと未来フェア、3年平和学習において地域と関わりを持ちながら学習を展開していきます。さらに視野を世界に広げるために、中国深圳市にある明德実験学校との交流も、今年オンラインが中心となりますが、進めていきたいと考えています。



次に今年の変更点についてお願いします。昨年度末からお話させていただいていますが、「生活のきまり」が生徒会の全校討論をきっかけに刷新されました。今までの「きまり」は多くの事項を守るというスタンスでありましたが、新しい「生活のきまり」の精神は、学校生活の必要最低限のルールとし、多くの部分は学校目標でもある自ら考え、正しく判断し、行動するということが大切にしているというものです。また、校外生活(帰宅後、休日、長期休業中)については、「保護者の監督・責任の下、法律、公共のルール及びマナーを遵守し、安全に注意して過ごす。」という一文のみの記載としました。もちろん学校でも休みの前などはしっかりと指導しますが、ご家庭が主体となって、ご指導いただければと思います。

また、本年度は教職員の働き方改革についても、月45時間以内（一人当たりの平均値として）の時間外勤務時間の達成を求められています。成績や学籍管理のデジタル化、タイムカード導入による教職員の意識改革、教材の共有化など小さな効率化の積み重ねをしていますが、なかなかその達成には結びついていないのが現状です。そこで、本年度は3つのことについてご理解をいただきながら勤務時間縮減に向けて取り組んでいきたいと考えております。

まず1つ目が、1学期末と2学期末に三者懇談会を実施しますので、その際にそれぞれの学期のお子様の姿をお伝えすることで、1、2学期の通知表の総合所見をなくします。但し、懇談会を行わないお子様には総合所見を記入します。また、各教科の評価「ABC」、評定「1～5」は毎学期記入しますが、懇談会のお話の中で教科の様子も触れますので、教科の所見は原則年1回とします。

2つ目として、特に残業時間が多くなるテスト後（採点のため）と、学期末にノ一部活デーを設けて、勤務時間内に学級事務にあてられる時間を確保したいと思っております。1学期7日、2学期15日、3学期10日となります。

3つ目は、今後の部活のあり方にも関わってきますが、部活動指導員、外部コーチの増員を図りながら地域部活への移行を進めていきたいと思っております。国の施策でも、休日については地域の指導者が部活の指導にあたる方向が打ち出され、令和5年から段階的に実施の予定となっています。松川中에서도少子化が進む中、種目の維持も含め部活のあり方の検討を進めていきます。現在、部活動指導員は剣道1名、卓球1名、女子バスケ1名の計3名。外部コーチはサッカー1名、男子バスケ1名、女子バスケ1名、剣道2名、卓球1名の計6名の皆様方に担っていただいております。今後、松川中の部活動の方針を理解していただきながら、できるだけ関わっていただける方を増やし、将来的には地域部活への移行をスムーズに図っていききたいと考えています。

最後に、おまけの映像をご覧ください。

ご清聴ありがとうございました。



## ※保護者の皆様へ

松川中学校では、生徒の皆さんが安心して学校生活を送れるよう、学校管理面や生活指導面で注意してまいりましたが、より一層安心して生活できる学校にしていくため、以下のことについても配慮してまいります。

- ・生徒との個別相談では開放された場所で行ったり、複数の職員で相談に応じたりするよう配慮します。
- ・教室、研究室、その他諸室についてドアなどに掲示物を貼らず、外からも見えるようにするなど管理を適切に行うようにします。
- ・私的な電話、メール、SNS等のやり取りはしません。
- ・安全確保等、社会通念上認められる範囲外の生徒への身体接触はしません。
- ・生徒の記録写真などは学校の公用サーバーで管理します。
- ・教育目的外で性に関することについて話題とすることはしません。
- ・室管理が不適正であったり、指導に対して不適切と感じたりしたときは校内相談窓口へお知らせください。

相談窓口 松川中学校36-2073 担当 教頭:千野憲一 養護教諭:久保敷晴子

## 新型コロナウイルス感染症対策について

5月21日(金)に新型コロナウイルスの感染警戒レベルが全県4に引き上げられていますが、長野県教育委員会の「新型コロナウイルス感染症対策の県立学校運営ガイドライン」に従い、校内行事や学校生活はこれまでと同様、感染対策を徹底しながら、できるだけ通常通りに行ってまいります。ただ、レベル4以上の場合には保護者を含めて不特定多数の参観はやめ、生徒との接触の機会を減らすなどの対策をとります。状況によって、さらに変更が出てくる可能性がありますので、ご理解ください。

現在、変異株の割合が県内においても増加し、若い世代でも感染しやすい可能性が指摘されています。県内でも児童生徒や教職員の陽性者数が増加するとともに、臨時休業を行う学校も増加しており、一部の学校では、集団感染の発生も見られます。繰り返しになりますが、一人一人の感染予防対策が大切になります。ご家庭でも感染予防対策を継続していただくように、重ねてお願い申し上げます。なお、体調が悪い場合は無理をさせず、家で療養させてください。(本人のかぜ症状の場合等、欠席日数として扱いません。)医療機関を受診した場合には、診断結果や検査結果も学校にお知らせください。よろしくお願いたします。